【慶應義塾大学教養研究センター後援】

La littérature selon les oiseaux

鳥たちのフランス文学

フランス文学研究者7名が、
作品にはばたく鳥たちをテーマに発表を行います。
鳥という身近かつ神秘的な存在をめぐる想像力のあり方を一望し、
ひろく文学と自然のつながりを考える一日です。

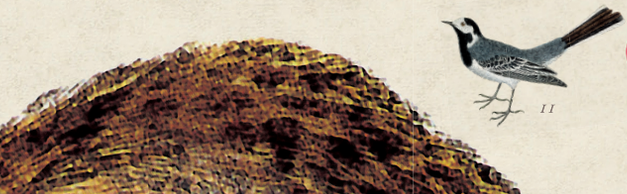
【日時】2018年11月25日（日）
10時30分——16時30分

【会場】慶應義塾大学日吉キャンパス
来往舎1Fシンポジウムスペース

入場自由［学内および一般］・無料







✣プログラム✣

10:30 中村英俊［明治学院大学］
自然誌から鳥類学へ

11:10 岡部杏子［早稲田大学人間総合研究センター］
マルスリーヌ・デボルド＝ヴァルモールにおける鳥

13:00 石橋正孝［立教大学］
ジュール・ヴェルヌと鳥

13:40 福田桃子［慶應義塾大学］
マルセル・プルーストの鳥類学

14:20 前之園望［東京大学］
シラサギが飛び立つまで——アンドレ・ブルトンにおける«aigrette»

15:00 三枝大修［成城大学］
イヴ・ボヌフォワの「鳥」

15:40 新島進［慶應義塾大学］
レーモン・ルーセルにおける伝書鳩と卵

慶應義塾大学
日吉キャンパス
来往舎
1Fシンポジウムスペース

神奈川県横浜市港北区日吉4−1−1
東急東横線・東急目黒線・
横浜市営地下鉄グリーンライン
「日吉」駅下車徒歩2分

◉主催・お問い合わせ先——慶應義塾大学経済学部・福田桃子 mesangebleue2018@gmail.com